

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

科目名	教員氏名	単位	実務経験及び授業の内容	科目区分
基礎演習a	広崎 心	2	新規事業立上げ業務の経験を基にビジネスプランの作成支援を行います。身近にある諸問題を解決するための方法を模索し、持続的な事業運営のために収支計算も行います。目標はコンテストに入賞することです。	基礎教育科目
経営学基礎	広崎 心	2	大手企業、外資系企業などでの勤務経験を活かし、ケーススタディを用いて対象企業が進むべき方向性をグループでディスカッションし発表することで、受講生自らが生きた企業経営を体感する場を提供している。	専門教育科目
経営管理論	広崎 心	2	企業での実務経験に基づき、企業の各部門の役割期待や中心となる業務内容について説明を行う。さらに、実際に参加者間で契約交渉を複数回行うことで交渉能力を養成する。	専門教育科目
経営戦略論	広崎 心	2	企業における製品買収や戦略的提携業務の経験を活かし、多角化戦略を積極的に実施する企業の経営戦略について、アニュアルレポートやビジネス誌記事などを読み込み、代表的な戦略ツールを用いて分析を行う。	専門教育科目
マーケティング論	広崎 心	2	企業のマーケティング部門での実務経験に基づき、商品開発、販売戦略立案、消費者ニーズ分析などについて体験型な指導を行う。具体的には企業での実務により近くするため、4～5名のチームで課題に取り組む。	専門教育科目
行政学	小野 英一	2	地方公務員としての勤務経験を活かし、行政現場の実態や具体的な行政実務についての内容を盛り込んだ講義を行います。	専門教育科目
地方自治論	小野 英一	2	地方公務員としての勤務経験を活かし、地方自治の実態や具体的な地方自治の実務についての内容を盛り込んだ講義を行います。	専門教育科目
公共経営論	小野 英一	2	地方公務員としての勤務経験を活かし、行政現場の実態、具体的な行政実務についての内容を盛り込んだ講義を行います。	専門教育科目
基礎演習a	温井 亨	2	学問的視点(建築学、造園学、都市計画)と、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点の双方から指導します。	基礎教育科目
基礎演習b	温井 亨	2	学問的視点(建築学、造園学、都市計画)と、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点の双方から指導します。	基礎教育科目
中心市街地の再生	温井 亨	2	学問的視点(建築学、造園学、都市計画)と、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点の双方から行います。	専門教育科目
観光・まちづくり演習a	温井 亨	2	学問的視点(建築学、造園学、都市計画)と、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点の双方から指導します。	専門教育科目
風景のデザインa	温井 亨	1	学問的視点(建築学、造園学、都市計画)と、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点の双方から行います。	専門教育科目
風景のデザインb	温井 亨	1	学問的視点(建築史、造園史)に加え、実務経験(建築設計事務所と都市計画事務所で、その後大学に移ってからの設計や計画の実務、まちづくり、町並み保存活動の実践)からの視点を加味して行います。	専門教育科目
基礎演習a	新名 阿津子	2	人文地理学をディシプリンとし、シンクタンクやジオパークでの実務経験とアカデミックポストでの経験をベースに、観光・ツーリズムや地域開発の理論と実践を通じて現代社会が直面する諸課題にアプローチします。	基礎教育科目
観光・まちづくり概論a	新名 阿津子	1	人文地理学をディシプリンとし、シンクタンクやジオパークでの実務経験とアカデミックポストでの経験をベースに、観光・ツーリズムや地域開発の理論と実践を通じて現代社会が直面する諸課題にアプローチします。	専門教育科目
観光・まちづくり概論b	新名 阿津子	1	人文地理学をディシプリンとし、シンクタンクやジオパークでの実務経験とアカデミックポストでの経験をベースに、観光・ツーリズムや地域開発の理論と実践を通じて現代社会が直面する諸課題にアプローチします。	専門教育科目
プロジェクト型応用演習(ジオパークにおける持続可能な観光)	新名 阿津子	2	人文地理学をディシプリンとし、シンクタンクやジオパークでの実務経験とアカデミックポストでの経験をベースに、観光・ツーリズムや地域開発の理論と実践を通じて現代社会が直面する諸課題にアプローチします。	専門教育科目
日経講座:デジタル社会論	加藤 嘉明	2	全国紙で電子新聞の発刊、運営にかかわる一方、テレビ局では番組のネット配信に取り組んだ経験を生かしながら、データ活用や人工知能(AI)の進歩が、わたしたちの社会をどのように変えようとしているのかを解説します。	基礎教育科目
日経講座:メガトレンド論	加藤 嘉明	2	新聞記者として長年にわたり政治、経済、産業の各分野で取材、執筆にあたった経験を生かし、今後30年先までを見据えた国際政治や世界経済の大きな潮流を解説します。	基礎教育科目
現代メディア論	加藤 嘉明	2	新聞社でニュース報道に従事した経験を踏まえて、私たちの情報受容の方法がマスメディアからパーソナルメディアに変化している現状を説明します。事実を掘り起こして提示するジャーナリズムの役割についても、取材の実例を含めて紹介します。	基礎教育科目
	単位合計数	38		